

第31回 夏まつり5年ぶりに開催

7月28日(日)に第31回福田病院夏まつりが5年ぶりに開催されました。

第5類になったとはいえ新型コロナウイルス感染症が流行の兆しを見せ、開催の判断が難しいところもありましたが、必要な対策を行いながら開催に踏み切りました。

当日は天候も良く、逆に熱中症を心配しながらの開催となりましたが、多くの地域の方々や患者さまにご来場いただいたおかげで、盛大な夏まつりを開催することができました。

ステージでは熊本第一高校の白梅太鼓を皮切りに、コアラ保育園の園児はお遊戯と、その後に登場したくまモンと一緒に元気いっぱい踊りを披露しました。その後も一新小学校吹奏楽部25名による演奏、キッズチアリーディングチーム45名によるショーなど全7つのステージがあり、最後に当院の職員総踊りでフィナーレを飾りました。

会場にはカレー、焼きそば、から揚げ、フライドポテト、綿菓子など様々な飲食物の販売やゲーム、金魚すくいなどがありましたが、その中でも猛暑の影響からか、かき



氷の販売に長蛇の来場者が並んでいました。

5年のブランクはあったものの、来場者数は5年前と変わらず、最後の時間まで多くの地域の皆様楽しんでいただくことができました。

来年以降も地域の方々や患者さまに楽しんでいただけるよう努めてまいります。その際はご来場いただけますよう心よりお待ちしております。



産後ケア事業について

「産後ケア事業」とは出産後1年未満のお母さんと、赤ちゃんに心身のケアや育児のサポートを行う母子保健法に定められた取り組みです。

宿泊型、日帰り型、訪問型などがあります。当院は熊本市をはじめ8市町村の実施施設になっています。

利用できる施設や利用方法は、ご自身の住民票のある市町村のホームページなどでご確認ください。

当院では、出産日または出産予定日から4ヶ月未満のお母さんと赤ちゃんを対象に宿泊型を行っています。

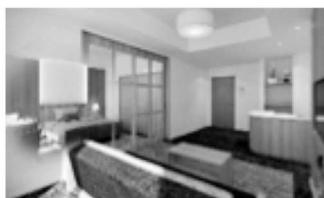
ご利用された方々からは

- ・寝不足だったので久しぶりにぐっすり寝ることができた。
- ・ゆっくりご飯を食べてゆっくり入浴できてリフレッシュできた。
- ・話を聞いてもらい家で一人で育児をするストレスが解消できた。

・初めての育児で不安だったことを相談できて安心した。

等のお声をいただいています。

たくさんの方にご利用していただきたいのですが、現在予約待ちが発生しております。連携施設の菊陽レディースクリニック、またはせれレディースクリニックなどのご利用もぜひご検討ください。



まつせレディースクリニック病室

個人情報の利用について 当院がコアラジャーナル郵送のために預りしている氏名、住所等の個人情報は、コアラジャーナルの郵送の他、当院で開催する行事のご案内や重要なお知らせ等を送付する目的で利用させていただきます。それ以外の目的で利用させていただく必要が生じた場合には、あらかじめご本人の同意をいただきますので、ご了承ください。

住所が変更になられた方は、福田病院までご連絡下さい。

コアラジャーナル編集部



コアラ ジャーナル KOALA JOURNAL

発行所 熊本市中央区新町2丁目2-6
〒860-0004 電話 (096) 322-2995
http://www.fukuda-hp.or.jp
info@fukuda-hp.or.jp
愛育会 福田病院
購読料 一部 30円 年額300円
第470号 毎月1回 1日発行

子の成長とともに

総務課長補佐 上村 啓造

秋の風が時折感じられる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。街路樹も少しずつ色づき始め、秋の訪れを実感するこの頃です。

現在、総務部での勤務の為、患者様との接点がありませんが、これまで自分の子育て体験を語ったことはありませんが、3人の父親としての経験を書くことにしました。

長男が生まれた時期、私の仕事が忙しく、ほとんど育児に参加できていませんでした。寝ている間に出勤し、遅く帰ってきて寝顔を見る毎日で、日中の様子は妻が撮ってくれたビデオを帰宅後に観ていました。日曜日だけ買い物等、一緒にお出かけをしていました。その後、菊陽レディースクリニックに出向となったため、さらに通勤時間分、自宅にいる時間が短くなるという状況が2歳頃まで続きました。幸い、妻の実家と自宅が近かったため、妻一人での育児ではありましたが、状況を変える必要がありました。そこで職場の

すぐ近くに引っ越し、妻も近くのパン屋で働くことにしました。妻が朝5時に出勤する為、父と息子の二人で朝食をとり、保育園に送迎後に出勤することになり、ここから一気に子どもとの関わりが増えました。


数年後、次男を妻が出産後も、男3人で朝食をとり、小学生になった長男を送り出した後、次男を保育園に送迎して出勤。その後の、3人目の長女誕生後も同じように、朝は母が不在で、次男を保育園に送迎後、同じ保育園に入らなかった長女を別の保育園に送迎するという状況でした。バタバタすぎて、次男の靴を車の上に置けたまま出発したり、長女を預け忘れたことに通勤途中で気づき、Uターンして保育園に行ったりと、今となっては笑い話です。一番下の長女が1歳になる頃に、ソフィアレディースクリニック水道町に出向となり、朝7時に長女を保育園に預けて出勤していましたが、長男が中学生、次男が小学生になっていた為、それほど大変ではありませんでした。

私の場合、子育ては長い期間ずっと手がかかるわけではなく、子供の成長につれて少しずつ余裕ができ、自分の


時間も作る事ができるようになってきました。忙しい大変な時期は自分だけでなく周りのサポートを受けることが重要ですが、実家が近くない場合でも、現在は自治体や地域のボランティアによる手助けなど、多岐にわたる支援を受けることができます。福田病院でもゆかり倶楽部・患者相談窓口にて、多くのご相談に対応しています。こうしたサポートを活用することで、子育ての心身の負担を軽減し、家族全員がより良い生活を送ることができるようになると思います。

家庭ごとにそれぞれ環境は違いますが、我が家では、朝は母がおらず、夜は父がいない環境でしたが、子どもの適応力にとっては大した問題ではなかったようです。ただ、残業でほとんど夜は子ども達と合わない生活でしたので、朝に長女から「また来てね～」と言われながら出勤しており、これ以降、定時で退社する為に仕事の効率化を徹底し始めました。


親子共に成長していく過程を、男性として父親として、家庭と仕事の両立を図り、その役割を全うしながら楽しみたいと思います。




ホームページ



LINE



Instagram



facebook

母親学級(各教室等)、マタニティスポーツやよちよちサークルの開催については下記へお問い合わせください。

●母親学級(各教室等)のお問合せ●

< ゆかり倶楽部 >

【受付時間】9:00~17:00(日祝除く)

【ゆかり倶楽部直通番号】TEL: 096-322-5116

